

北近畿地域連携会議の設立に至る経緯

(平成 28 年 4 月 1 日)

公立大学法人福知山公立大学が発足し、兵庫県立大学大学院、京都工芸繊維大学及び福知山公立大学の 3 大学が、北近畿地域において活動する体制が整備されることとなった。また、福知山公立大学に北近畿地域連携センターが附属施設として開設され活動を開始。

(平成 28 年 9 月)

福知山公立大学と福知山市との間で、北近畿地域における大学機能の活用について、民間と大学の連携による地域活性化の仕組みづくりに関する予備的な情報交換が行われる。

(平成 28 年 10 月)

福知山公立大学と福知山市との間で、北近畿地域における 3 大学が連携したセクター横断型の民間のシンクタンク機能とプロジェクト創生機能を持つ機関を創設することについて意見交換が行われる。

その中で、基本的に民間が主体となり、行政との円滑な情報交換と協力が可能な組織を、福知山公立大学北近畿地域連携センターが事務局となり、各方面に打診と情報収集を進めることとなる。

(平成 28 年 11 月)

事務局において、各方面の意見聴取を踏まえて、京都府北部と兵庫県但馬・丹波地域を包含する新たな組織を創設するための設立趣意書(案)等を作成するとともに、3 大学・地域の有力な民間企業計 7 機関及び組織の代表者に呼びかけ人となっていただく。またそれと並行して、行政の各機関に対して趣旨説明と意見聴取を行い、基本的な理解を得る。

(平成 28 年 12 月～平成 28 年 2 月)

7 名の呼びかけ人を列記した発起人承諾依頼文を事務局が配布するとともに、対象者・団体に趣旨説明と依頼を行い、計 17 団体の代表者から発起人への承諾をいただく。

(平成 29 年 3 月～)

設立総会に向けて日程調整と企画等の準備を進める。

(平成 29 年 5 月 16 日)

北近畿地域連携会議設立総会